

授業科目 看護実践論

【担当教員名】 塚本 康子 他		対象学年	4	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 学んできた、各看護領域の学習を統合し安全・確実な看護実践となるよう、また臨地に円滑に導入できることをねらいとする。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1・自分自身の看護技術の習得状況を振り返り、自己の不足してりいる技術を列挙する。 2・患者の特性をふまえ、理論に基づいた看護実践ができる。 3・2・に基づいて、安全・確実に看護技術を実践できる。 4・自己の看護実践における課題について考察（評価）する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	事例の特性の理解			2	演習
2	看護技術の適用			2	演習
3	看護技術実践			3	演習
4	看護技術実践			3	演習
5	看護技術実践			3	演習
6	看護技術実践			3	演習
7	自己の振り返り			1	演習
8	まとめ			4	演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		適宜配布			
【評価方法】 実技試験他			【履修上の留意点】 4年間を通して学習してきた看護技術を統合して安全・確実に実践できるように、各自が真摯に取り組んで欲しい。		